

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①単位制高校としての、本校のシステムに満足している生徒が80%以上である。	①生徒の実態やニーズに応じた選択科目を用意するなど、魅力ある教育課程や学校行事の検討・工夫・改善を行う。	A	A	A	①満足と回答した生徒は90%であった。保護者アンケートでも92%が満足している。今後も単位制高校としての特色を活かし、きめ細かい指導を充実させる。 ②学校行事に主体的に参加していると回答した生徒は、70%と昨年よりも増加し参加した行事に満足との回答は80%であった。生徒の参加を促すような行事の設定と運営で満足度も増し、積極的な行事参加が得られている。 ③70%の生徒が「夜間の時間が合っている」、45%が「授業が選べる」、など学校の好きなどところをあげた。本校のシステムを活かしたきめ細かい教育を継続していく。 ④約70%の生徒が中学校時不登校経験者であったが、講座履修率では95%となり本校での改善傾向は多く見られるが、コロナ禍における習慣が抜けきれていない生徒も少なからずあり、個別に支援していく必要がある。 ⑤校内研修推進委員などが中心となり、授業改善に係る研修会を年5回実施した。本校の現状と課題に応じた研修を行い、研鑽に努めたい。	A: 単位制高校のアドバンテージを活かしての学校経営の意義が伝わってきます。生徒が夜間部を選択した理由や動機をリサーチしたことがありますか? A: 本校に入学して「勉強の面白さを感じた」と言った生徒がいました。そういう生徒がひとりでもいるということは、項目1.2が機能している証拠として捉えています。具体的数値項目や方策はこれ以上のものは立てづらいと思います。現状は、本学部(夜間)の存在意義が発揮されていると感じています。 A: 中学校時代に不登校気味であった生徒が清陵高校夜間部で学校生活を取り戻している姿はとても素晴らしいと感じています。
		②生活体験発表大会や文化発表会等の特色ある学校行事に主体的に参加している生徒が60%以上である。	②生徒会役員と協力しながら、生徒にとって学校行事が主体的に運営・参加できるような機会となるように工夫する。	A	A	A		
		③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	③生徒の安心・安全を第一に、生徒にとって居心地のよい環境づくりに努める。	B	B	B		
	2 個々の生徒の実情に応じた指導を行っていますか。	④中学時代に不登校や特別な支援が必要だった生徒の回復状況が80%以上である。	④複数の職員による日常的な教育相談や特別支援教育をとおして適切な対応をとるとともに、家庭との連携を深めながら回復途上の生徒を支援する。	A	A	A		
		⑤生徒理解や指導充実のために、職員の研修会を年3回以上行っている。	⑤校内研修推進委員が中心となり、研修会を企画する。	A	A	A		
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑥授業において、学習内容を理解している生徒が70%以上である。	⑥職員研修の機会等を有効に活用し、授業改善を学校全体で進め、生徒の実態を踏まえた上で、理解度が深まる工夫を進める。	A	A	A	⑥3科目以上で学習内容を理解していると回答した生徒は77%であった。前年度は75%で、やや上がった。今後ますます多様化する生徒に対応するため、授業改善により一層励み、基礎的な学力の定着を図ることを目指す。 ⑦授業に意欲的に取り組んでいると回答した生徒は83%であった。前年度は78%で、5%上がった。生徒の学習意欲を高められるよう教材研究に励み、魅力ある授業づくりに努めたい。 ⑧授業に出席しようと努力していると回答した生徒は69%であった。前年度は65%で、やや上がった。改善傾向ではあるものの、目標到達まではまだまだ課題が多い。校内外での研修等を活用し、生徒が安心して学習できるよう努めたい。 ⑨職員会議、情報交換会、生活指導係、進路指導部、特別支援係、教育相談係で合わせて月2回以上実施した。	A: 先生方が連携して生徒指導にあたられていることはとても評価できます。多様化する生徒へのきめ細かい対応を継続してください。 A: 生徒が学校を居場所として通学してこれられることは素晴らしいです。先生方のご尽力に頭が下がります。
		⑦授業アンケートの中で授業に意欲的に取り組んでいると回答している生徒が80%以上である。	⑦生徒が授業に意欲的に取り組み、積極的に参加できるような学習環境の整備ならびに教材開発に努める。	A	A	A		
	4 生徒の学習意欲を高める指導を行っていますか。	⑧授業アンケートの中で授業に出席しようと努力していると回答している生徒が80%以上である。	⑧生徒の居場所としての授業を目指し、生徒が安心して学習に取り組むことができるよう適切な支援を行う。	B	B	B		
		⑨職員会議や各係会議等において、生徒の情報交換を月2回以上行っている。	⑨日ごろから生徒の様子を観察し、共有できる最新の情報を収集・整理する。	A	A	A		
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑩巡回・声かけ等の指導を毎日行っている。	⑩指導計画を立て、全職員により実施する。	A	A	A	⑩巡回、声かけ等の指導を毎日行った。必要に応じ適宜巡回を行った。今後も継続したい。 ⑪部活動に入って意欲的に活動している生徒は65%であった。また部活動に加入している生徒が4.9%なので今後も呼びかけを行い入部を促したい。 ⑫いじめアンケート3回、学校生活アンケート2回の他2者面談、3者面談での確認を行いいじめの早期発見・防止に努めた。 ⑬いじめ防止基本法に関する研修を2度行い、また生徒指導主事会でのいじめに関する内容を伝達した。今後も行いたい。 ⑭日頃の学校生活のあらゆる場面で各教員が声かけを行い、生徒の情報を共有している。今後継続して行いたい。 ⑮生徒の77%が健康で規則正しい生活を心がけている。保健室と連携し健康管理や基本的な生活習慣の確立を呼びかけたい。 ⑯生徒の出席率は85%であった。今後も家庭との連絡を密にし生徒の心が学校へ向くよう継続的に支援する。 ⑰積極的に、自分なりに選択しているを合わせると82.8%であり、進路を意識して授業を選択している。進路行事が進路を考える参考になったか。では、大いになった、少しなつたを合わせると61.8%である。あまり、まったくは5.6%である。 ⑱3パートの企業見学会は実施できた。全学年を通しての進路ガイダンスは1回実施できた。卒業学年は外部機関を招いての面接指導、履歴書指導、学年団での面接指導を実施できた。管理職にも最後の指導をお願いし実施できた。1・2年次は外部講師を招いての進路学習や上級学校の見学会を実施できた。 ⑲後期卒業予定者4.4名の進路状況は以下のとおりである。(大学18.2%、専門38.6%、就職13.6%、その他29.5%) ⑳三者面談や保護者面談を通して教員間での情報の共有が図られている。	A: 部活動の活性化に向けて、生徒の加入率を上げることは大変だと思います。特に就労している生徒で部活動をしたいが入れないケースもあるのでしよう。 A: 保健室の動きの大切さを感じています。 A: 生徒に対する人権教育はどのようなコンテンツでどのように実施していますか? A: 多様性(LGBTや外国人)を認める雰囲気はあると感じています。1,2,5,6,7に横断的に関わってくるのかと思いますが、方策は立てなくても、まとめの中でどこかに触れて欲しいと思いました。 A: 生徒一人ひとりの目を配り声を掛けていくことは大変なことであると思いますが、ぜひ継続して実施していただきたいと思います。
		⑪部活動を活性化し、意欲的に活動している生徒が70%以上である。	⑪部活動を実施し、未然防止に努めるとともにその結果に応じた対応を、係を中心にして組織的に行う。	A	A	A		
		⑫いじめの未然防止に努め、アンケート等を年3回以上実施する。	⑫校内研修等を行うことにより教職員の意識や知見を向上させる。	A	A	A		
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑬いじめ防止基本方針を踏まえた対応に関する校内研修等を年2回以上行う。	⑬集会、授業、HR等あらゆる機会をとおして声をかけ、働きかける。	A	A	A		
		⑭校則を守ることを心がけている生徒が80%以上である。	⑭日ごろから生徒の生活状況を観察し、必要に応じて面談等を行う。	A	A	A		
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑮健康で規則正しい生活を心がけている生徒が70%以上である。	⑮家庭との連絡を密にして、生徒の気持ちが学校に向くよう支援する。	A	A	A		
		⑯家庭との連携を図り、日々の出席率が75%以上である。	⑯外部機関等と協力して、進路について考える機会を与え、進路選択の幅を広げられるように指導する。	A	A	A		
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	⑰キャリア教育・進路行事の系統性を高め全校行事、各学年行事を計画し有益だと感じている生徒が60%以上である。	⑰体験学習等を通して、自ら考え進路が実現できるように支援する。	A	A	A	A: 全校行事・各学年行事を有益と感じている生徒が60%以上であるという目標値ですが、進路選択に関する大事な指標の割には低いように感じます。 A: 進路選択をする際には、本人の考え方や現状を踏まえた、選択肢の多さも必要だと思います。選択肢を広げるような就活指導は具体的にどう進めていますか?	
		⑱進路実現に向け積極的に取り組んでいる生徒が60%以上である。	⑱あらゆる機会を通して進路について考えさせ、その実現を支援する。	A	A	A		
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑲進路希望未定者30%未満である。	⑲三者面談、三者面談等を通して、情報の共有を職員全体で図る。	A	A	A		
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑳学校の教育活動を理解してもらうために学校公開を年3回実施している。	⑳公開授業、学校説明会等を実施し、保護者の参加を促す。	A	A	A	⑳学校説明会や学校見学を行うことができた。また、保護者面談期間にあわせて公開授業を年2回行うことができた。来年度も引き続き計画的に実施していきたい。 ㉑生徒指導部より9回、保健だより6回、学年通信33回、カウンセラーだより4回、学校Webページでの行事報告19回、計71回情報発信できた。来年度も有用な情報発信を継続していく。 ㉒三者面談、保護者面談を通して、学校評価や本年度の行事予定などを周知した。本校の教育活動や取り組みを理解してもらえるよう面談等の場を活用していく。 ㉓令和4年度に学校Webページをリニューアルしてから151万件超のアクセス数となっている。この1年では約65万件のアクセス数であり前年度より増加している。更新回数や内容の充実を更に進め、有用な情報発信をしていく。	A: 学校広報はコンセプトに基づいて戦略的に行われることが望ましいと思います。新聞などのパブリシティ活用やHP、Instagramなどで露出度を高めてください。 A: 私もSCとして学校職員のひとりとして本校の意義の啓蒙に努めています。(フリースクール、スリースペース等)
		㉑生徒指導部より、保健だより、学年だより等を年に合計70回以上発行している。	㉑学校Webページを積極的に活用し、日常生活やこれらから自己実現を果たす上で参考となるような情報を発信する。	A	A	A		
		㉒学校評価の結果を年1回公開している。	㉒三者面談等を利用して学校評価の結果を保護者に公開し、情報の共有を図る。	A	A	A		
		㉓本校Webページへのアクセス数が年間30万件以上である。	㉓できるだけこまめに情報の更新を行い、コンテンツを魅力のあるものにする。	A	A	A		
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	11 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉕ICT活用に関する校内研修を年1回以上行う。	㉕校内研修を行うことにより、教職員のICT活用に対する意識を向上させる。	A	A	A	B: 教員のICT活用研修が年1回以上となっていますが、現実的に何回くらい開催していますか? B: 校務のデジタル化の推進と併せ、清陵高校の持ち味である直接対話によるアナログ的なご尽力のマッチングを期待しています。	
		㉖授業におけるICT活用に満足していると回答している生徒が70%以上である。	㉖生徒用PCやプロジェクターなどを活用しやすい学習環境の整備ならびに教材開発に努める。	A	A	A		
	12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉗校務のデジタル化についての研修を年1回以上行う。	㉗日々の校務を行う中でデジタル化の取組に関する情報交換を含めた研修を行うとともに、新たに導入されるシステムに備えた対応をすることにより校務のスリム化を図る。	A	A	A		